

2025 年度業務実績報告書

提出日令和 8 年 1 月 9 日

1. 職名・氏名 助教 坂部敬子

2. 学位 学位 修士、専門分野 看護学、授与機関 福井県立大学大学院看護福祉学研究科修士課程、授与年 平成 26 年 3 月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 公衆衛生看護管理実習（2 単位）：4 年生
②内容・ねらい 地域の特性と健康問題・課題について地域診断を通して理解する。 保健所実習において保健所の役割と機能、公衆衛生看護活動の実際を学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 3 クールすべての実習に出務した。4 保健所で実習した 17 名を担当した。 臨地実習前の学内実習においては、保健所管内の健康課題に基づいた公衆衛生看護活動を理解した上で実習に臨むことができるように努めた。その際、疑問やさらに理解を深めたいと思う内容を整理させ、実習で自主的に学ぶことが出来るように整えた。 保健所実習においては、実習目標が達成できるよう実習計画作成時に実習指導者と十分な話し合いを行った。特に、保健師の専門性・技術である健康課題の把握と事業の企画立案や連携・調整、地域への組織的な取り組みなど、実習でも見えない部分について理解できるような説明を依頼した。また、直前の学内実習の段階で学生の理解が不十分な内容については、実習開始後に実習計画に追加していただくよう指導者に依頼した。学生指導においては、見学・体験と講義での学びとがつながるように努めた。さらに学生が主体的に学ぶことが出来るよう、実習指導者とコミュニケーションをとりよい関係性を構築することを勧めた。実習期間中は、看護職者としてだけでなく、社会人としても主体的で責任ある行動がとれるよう助言した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 公衆衛生看護活動展開実習（3 単位）：4 年生
②内容・ねらい 市町を単位として受け持ち、個人・家族・特定集団・地域全体を視野に置いた公衆衛生看護活動を展開するために必要な能力を養う。地域の健康課題に対する公衆衛生看護活動の展開方法と公衆衛生看護の役割と専門性について学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 3 クールすべての実習に出務した。5 市町で実習した 17 名を担当した。 公衆衛生看護管理実習同様、市町実習の実習目標が達成できるよう実習計画作成時に実習指導者と十分な話し合いを行った。連絡調整や企画立案といった見学・体験できない保健師の仕事については、可能な限り体験させてもらえるようにした。また、保健衛生推進員の地区活動や食生活改善推進員養成講座、自主グループ活動に参加させてもらい、住民との協働とその必要性についても学ぶことが出来るようにした。公衆衛生看護活動展開実習では住民とかわる機会が多いため、コミュニケーションが苦手な学生の把握とサポートに努め、貴重な体験を逃さないようにした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 公衆衛生看護技術Ⅰ（地域診断）（1 単位）：3 年生

②内容・ねらい 公衆衛生看護活動の展開に必要な地域診断について演習を通して知識・技術を習得し、理解を深める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 授業では、既存の衛生統計資料や保健医療に関する資料等を図表化・分析する知識・技術について助言し、4年次の公衆衛生看護管理実習における地域診断につながる学習となるよう努める。また、グループワークでは、学生が実際に実習する市町に興味や関心を持てるようにする。図表作成や分析に時間がかかる学生などには、丁寧に個別指導を行う。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 公衆衛生看護技術Ⅱ（個人・家族）（1単位）：3年生 ※科目の主担当
②内容・ねらい 乳児家庭訪問における個人・家族支援の過程と実際、支援に必要な知識・技術と方法を理解する。 幼児健康診査の間診・指導場面における発育・発達のアセスメント、保健指導に必要な知識・技術と方法を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 乳児家庭訪問の事例を通して家庭訪問の流れと家庭訪問に必要な知識・技術について学習し、実習での同行訪問の際に十分な学びができるよう準備状態を整える。今年度の実習では同行訪問を体験できなかった学生もいたため、可能な限り、演習で家庭訪問に必要な知識・技術と態度について習得できるようにする。乳児家庭訪問および幼児健診の事例は、国家試験の問題傾向も見ながら見直していく。 学生が個人ワークした後、グループによる話し合いをして発表し、全体での共有・教員の補足説明の流れで行う。前回、共有・教員の補足説明の時間が不足し、課題と考えられたため、時間配分を考える。個人ワーク完成までの時間差が発生することが予測されるので、日数を1日増やし、授業時間以外に個人ワークができるようにする。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 公衆衛生看護技術Ⅲ（集団・組織）（1単位）：3年生 ※科目の主担当
②内容・ねらい 集団を対象とした健康教育を企画するために必要な技術を習得する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 演習と次年度の実習とを連動させるため、演習開始までに実習施設と十分話し合い、次年度の実習で学生が行う健康教育の対象・事業・場を決定する。 演習では、まず各自が健康教育の対象・場の理解、健康課題の把握をした後、グループワークを実施し、グループで一つの健康課題を決定する。グループ間のコミュニケーションが円滑に進むよう見守りながら、グループワークが充実するように助言していく。 さらに、演習で行ったことが、実習では見えにくい事業の企画立案の部分であり、保健師の専門性であることを指導する。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（3単位）：4年生
②内容・ねらい 科学的思考力を養い、自ら探求する態度と研究能力の基礎を身につける。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 2名の学生を担当し、研究発表までの一連の過程を指導した。 学生自身が考えてみたいと思ったテーマを大事にし、指導の際は、今後、学生が研究に取り組む際に必要な基礎的な能力が身につくよう指導した。特に、倫理的配慮・倫理審査に関して説明・指導を丁寧に行った。また、今後、就職先で実際に研究を行う場合の進め方が具体的に理解できるような説明を加えた。 学生が意欲的かつ主体的に進められるよう、必要な時期に必要な助言を行った。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 政策形成過程演習（1単位）：3年生
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 政策形成過程演習（1単位）：3年生
②内容・ねらい 地域の健康課題から、健康課題解決の施策の検討、事業化の必要性を検討し、施策・事業計画を立案する知識・技術を身につける。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 演習で学生が立案した事業計画の発表日（2コマ）に従事した。 発表に対して助言する際は、地域の人々の暮らしや行動、事業目標の到達の難しさの実際も伝え、考えた企画の改善案を考える意欲が持てるように努めた。さらに、改善案を考えるためのヒントになるよう助言した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 公衆衛生看護活動論Ⅰ（1単位）：2年生
②内容・ねらい 公衆衛生看護活動における健康教育の教育媒体、展開過程と実際について理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 3コマの授業を担当した。 授業の最後に、先輩学生が実習で実施した健康教育の内容と媒体を紹介し、授業で説明した内容について理解が深まるよう工夫した。
(2)その他の教育活動
内容 - 福井歯科専門学校 歯科衛生士科 非常勤講師 - 衛生学・公衆衛生学①（1年生）：2コマ（180分）×7回、試験問題作成および採点 - 衛生学・公衆衛生学②（3年生）：2コマ（180分）×5回、試験問題作成

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等（ポスター発表）	
1) 卒後教育を見据えた保健師基礎教育の実践能力到達状況に関する検討－保健師教育評価指標に基づく実態調査より－、第 14 回日本公衆衛生看護学会学術集会(2025 年 12 月 13 日)、小島 亜未、 <u>坂部敬子</u> 。	【 1 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
・ R5～R8 年度 科研費基盤研究 C（研究題目：行動科学を活用する睡眠マネジメントプログラムの開発、申請代表小島）における研究協力者	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

・ 福井市建築審査会委員（公衆衛生部門）：R7.8～現在に至る
・ 令和 7 年度 市町保健師研究協議会 新任保健師研修会（講師）：講演 120 分 テーマ「個別事例を地域の健康課題につなげる」（6.23）（福井県国民健康保険団体連合会事務局）
・ R7 年度開放講義（模擬授業）：看護の対象を理解するー情報収集（アセスメント）ー、丹生仁愛女子高等学校（11.21）

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
・ 看護福祉学部 学部広報 WG メンバー ・ 看護学科 学部情報処理演習室管理担当 ・ 看護学科 卒業研究係 ・ 看護学科 看護発展セミナー係 ・ 看護学科 Q トレ係
(3)学内行事への参加
【研修会】 ・ サイバーセキュリティ研修会（オンデマンド受講） 【入試関連】 ・ 入試説明会（12.17） 【全学ミーティング】 ・ 全学ミーティング 2 回目（10.8） ※1 回目は実習のため欠席 【フィンドレー大学交流（受け入れ）】 ・ 5.20 夕飯を担当（企画、スケジュール管理、買い物、調理器具の準備など）
(4)その他、自発的活動など